

中信

「タンパク質危機」対応 評価

松本秀峰中等教育学校(松本市)4年(高校1年)の5人が、仮想の株式投資を通じて金融や経済について学ぶコンテスト「日経STOCKリーグ」で高校生部門の優秀賞に選ばれた。全国の154高校1054チームから選ばれ、同校では初めて。世界の人口増加に食肉の生産が追いつかなくなる「タンパク質危機」を前に、微生物が作用してできる「微生物食品」の生産量を増やすことに注目。投資テーマを「微生物食品でタンパク質危機解決」に決め、企業や専門家からの聞き取りで危機への対応法を学んだ。



コンテストは中学、高校、大学・専門学校各部門があり、25回目の本年度は332校2023チームが参加。35人のチームがそれぞれ決めたテーマに対し、500万円分の仮想株式の銘柄を複数選んで学びをレポートにまとめ、理解度を競う。植物性原料を使う代替肉の「持続可能性」を調べていた坂田美虹さん(16)が中心となつて、昨春チームを結成した。

5人は同校教諭や証券会社、食料生産に先端技術を活用する「フードテック」を進める企業などへ聞き取りを重ねた。微生物食品のうち、微生物でタンパク質や脂質などを作る「精密発酵食品」など4種類を選び、それぞれの利点や課題を分析。2050年に世界で起こるとされるタンパク質危機に対し、微生物食品で問題を解決するために投資するべき企業20社を選び、株式運用の方針や投資家へのアピールを考えたと。

松本秀峰の5人 金融コンテスト高校部門で優秀賞 「微生物食品」に注目 仮想の株式運用まとめ

また、取り組みの一環で在校生や市民ら719人にタンパク質危機についてアンケートを実施し、認知度が約26%と低いことが分かった。昨年10月、都内で開かれたフードテックに関するサミットにも参加。森理菜さん(16)は「一つの課題から生物分野や機械分野などいろいろな問題に広がる可能性を感じた」と話している。

宇留賀侑華さん(16)は、微生物食品の開発にはコストがかかるが、従来より少ない資源で食品を作ることができる」と利点を強調。小泉舞さん(16)は「微生物食品のメリットや課題に気づき、知見が広がった」。花岡瑠奈さん(16)も今回の経験を生かし「みんなで話し合っただけに役に立つものを創り出していきたい」と意欲を見せた。

表彰状

部門優秀賞(高校生部門)
松本秀峰中等教育学校 4年

坂田 美虹 殿
小泉 舞 殿
花岡 瑠奈 殿
宇留賀 侑華 殿
松本 秀峰 殿

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ

優秀賞

投資テーマ
微生物食品でタンパク質危機解決

表彰状
日経STOCKリーグ